

- 問1 3世紀の中国の歴史書『魏志』倭人伝において、女王卑弥呼が統治していたとされる、当時の日本列島の呼称として適切なものはどれですか。
(2017年 長崎県公立入試 類似)

1. 倭国

2. 日本

3. 邪馬台国

4. 高天原
- 問2 弥生時代の遺跡からは、大陸から伝わった銅剣や銅矛などの青銅器が発見されることがあります。これらの青銅器の使われ方の特徴や変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
(2017年 岡山県公立入試 類似)

1. 弥生時代には鉄器がまだ伝わっていなかったため、青銅器が唯一の金属製武器として実戦で使われ続けた。

2. 当初は武器として伝わったが、日本では次第に豊作を祈る祭祀や儀式のための宝物として使われるようになった。

3. 各地の王が富を蓄えるための貨幣として使われ、和同開珎が作られるまで主要な流通手段となった。

4. 青銅器は非常に硬くて丈夫であったため、収穫した稲を加工するための農業用工具として普及した。
- 問3 中国の歴史書である『魏志倭人伝』は、日本の古代社会を知る上で非常に重要な史料です。この書物において、日本の「道路」に関する最初の記録が残されている背景を考慮し、当時の社会状況の説明として適切なものはどれですか。
(2022年 長野県公立入試 類似)

1. 鑑真が仏教を広めるために日本を訪れた際、僧侶が移動するための専用の道路が全国に整備されたことが記されている。

2. 卑弥呼が邪馬台国の女王として約30の国を統治しており、当時の日本の様子や交通に関する初期の状況が記されている。

3. 律令国家の仕組みが整い、地方と都を結ぶために全国規模で「駅制」という道路網が完成した様子が記されている。

4. 墾田永年私財法によって開墾された土地へ農民が移動するため、政府が初めて本格的な道路建設に着手したことが記されている。
- 問4 縄文時代末期に大陸から北九州地方へ稲作が伝来したことにより、その後の社会の仕組みはどのように変化しましたか。最も適切な説明を選びなさい。
(2016年 奈良県公立入試 類似)

1. 食料の保存が可能になったことで、蓄えの多寡による富の差や、土地や水をめぐる争いが生じるようになった。

2. 大陸との交易が独占されたため、各地の集落が独立したまま争いのない平和な時代が続いた。

3. 全国で狩猟や採集が完全に行われなくなり、全ての集落が移動をしない定住生活を同時に開始した。

4. 米を貨幣として使用する制度がすぐに確立し、中央集権的な国家が全国に一斉に誕生した。
- 問5 島根県の荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡では、大量の銅剣や銅鐸が一箇所に埋められた状態で発見されている。これらの金属器が、当時の社会において果たしていた役割について説明したものととして、最も適切なものはどれか。
(2022年 島根県公立入試 類似)

1. 他の集落との戦争において、殺傷能力の高い武器として実戦で用いられた

2. 大規模な森林を切り開くための伐採具として用いられた

3. 米などの収穫量を正確に計測するための度量衡として用いられた

4. 五穀豊穡などを祈るための祭祀用の道具として用いられた
- 問6 弥生時代の人々が、収穫した米を保存する建物の床を地面から高く設計した理由として、当時の工夫を説明したものととして最も適切なものはどれですか。
(2018年 山形県公立入試 類似)

1. 洪水が発生した際に建物全体が水に浮くようにし、米が濡れるのを防ぐため

2. 床下を家畜の飼育スペースとして利用し、限られた土地を有効に活用するため

3. 風通しを良くして湿気を防ぐとともに、ねずみなどの害獣が侵入するのを防ぐため

4. 敵に米を奪われないよう、床下に深い穴を掘って隠し場所を作るため
- 問7 3世紀の倭（日本）において、邪馬台国の女王である卑弥呼が中国の魏へ使節を送った際、皇帝から授かったとされる称号と、その証として贈られたものの組み合わせとして適切なものはどれですか。
(2019年 広島県公立入試 類似)

1. 大王の称号と、鉄製の武器や農具

2. 漢委奴国王の称号と、金印

3. 親魏倭王の称号と、金印や百枚の銅鏡

4. 倭王の称号と、仏教の経典や寺院の設計図
- 問8 弥生時代の吉野ヶ里遺跡などに見られる、高い木材を組み上げ周囲に柵を張り巡らせた「物見やぐら」が作られた背景として、当時の社会状況を正しく説明しているものはどれですか。
(2016年 岐阜県公立入試 類似)

1. 天皇を中心とした中央集権体制が確立し、地方の豪族がその権力を誇示するために建設したため。

2. 大陸から伝わった仏教の儀式を行うため、天に近い高い場所で祈りを捧げる必要があったため。

3. 稲作の普及により土地や水をめぐる争いが増え、集落を守るための防御機能が必要になったため。

4. 高床倉庫に保管した穀物がネズミの被害に遭わないよう、高い場所で常に監視を行うため。
- 問9 日本の歴史における、弥生時代の社会の様子を説明したものととして最も適切なものはどれですか。
(2024年 山口県公立入試 類似)

1. 農業の生産力を高めるために、同じ耕地で一年に二種類の作物を栽培する二毛作の技術が全国的に広まった。

2. 衣類に用いる素材として麻に代わり綿（木綿）が全国的に普及し、庶民の生活水準が大きく向上した。

3. 日本列島がまだ大陸と陸続きであったため、人々はナウマンゾウなどの大型の動物を追って移動しながら生活していた。

4. 大陸から稲作の技術が伝わり、水田の近くで共同生活を送る「むら」と呼ばれる集落がつくられるようになった。
- 問10 1世紀半ば、日本の小国の一つであった奴国の王が、中国の王朝である後漢へ使者を送った時期の社会状況として、最も適切なものはどれですか。
(2022年 愛媛県公立入試 類似)

1. 仏教による国家の安定を図るため、聖武天皇の命によって全国各地に国分寺や国分尼寺が建立された。

2. 巨大な前方後円墳が築造されるようになり、その周囲には死者を供養するための埴輪が並べられた。

3. 大陸から伝わった稲作や金属器の使用が広まり、食料の蓄えや土地をめぐる集落間の争いが起こるようになった。

4. 狩猟や採集を生活の中心とし、ナウマンゾウなどの大型動物を追って移動を繰り返す生活を送っていた。
- 問11 3世紀前半の倭（日本）において、邪馬台国の女王である卑弥呼が中国の魏に使いを送った背景と、その結果として得られたものについて説明した文として最も適切なものはどれですか。
(2015年 岐阜県公立入試 類似)

1. 仏教などの新しい文化や技術を取り入れるため、百濟を通じて大陸との国交を樹立し、高度な官僚組織を構築しようとした。

2. 中国の唐から律令制度を導入するために遣唐使を派遣し、天皇を中心とした中央集権国家の仕組みを整えようとした。

3. 中国の魏の皇帝から「親魏倭王」の称号や多数の銅鏡などを授かることで、自らの権威を国内に示し、統治を安定させようとした。

4. 後漢の皇帝から金印を授かることで、九州北部を中心とした小国の連合を強固なものとし、大陸との交易を独占しようとした。
- 問12 稲作の技術が広まったことで、土地や水をめぐる争いが起き、周辺のムラを従えて「クニ」をつくる者が現れた弥生時代の社会において、青銅器はどのような役割を担ったと考えられますか。
(2019年 徳島県公立入試 類似)

1. 大陸との交易において、日本の特産品として輸出される主要な品目となった

2. 呪術的な力を持つと信じられ、女性の姿をかたどった土偶とともに魔除けとして埋められた

3. 大規模な水田開発を行う際、土を掘り起こすための主要な農具として普及した

4. 王や指導者がその権威を示すため、あるいは祭祀を行うための象徴として用いられた